

- ・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
  - ・施工は必ず専門の工事業者の方が行ってください。
  - ・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

### ▲ 注意

- ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

### お願い

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

### ※

- ・取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

### 補 足

- ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

## < 施工の前に >

### ▲ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

### お願い

- ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
- ・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

## < 基礎工事について >

### ▲ 注意

- ・基礎部の埋込み深さは製品ごとに決まっていますが、現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- ・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず碎石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリのコンクリート用混和材（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等）は使用しないでください。
- ・使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

## お願い

- ・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。  
シミやムラ等の外観不良の原因になります。

## < 施工上のご注意 >

### ⚠ 注意

- ・各部の取付けが不完全な場合、ケガや器物破損の原因になりますので固定は確実に行ってください。
- ・アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- ・製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
  - ※φ4ネジ : 2.5N・m±0.5N・m
  - ※M6ボルト : 12N・m±0.5N・m

## お願い

- ・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ※作業服および保護具(保護帽、安全带、眼、耳、手、足の保護具)を正しく使用してください。
  - ※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。  
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  - ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
  - ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- ・取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ・腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。

## < 施工の後に >


### ⚠ 注意

- ・ボルト、ネジを増し締めしてください。


# 梱包明細表

※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

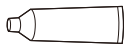





## 【1】 輪止めパイプ

名 称	略 図	員 数
輪止めパイプ		1



## 【2】 輪止め部品セット

名 称	略 図	員 数
小口キャップ		4
輪止めパイプキャップ		2
輪止めブラケットA (本体用)		1
輪止めブラケットプレート		1



## 【2】 輪止め部品セット (つづき)

名 称	略 図	員 数
接着剤		1
輪止めパイプ取付けボルト		1
【2-1】 M6バネ座金		4
【2-2】 M6平座金		6
【2-3】 M6六角ナット		4
【2-4】 M6×65六角ボルト		2
取付説明書〈D648〉	-	1

## 【3】 束柱セット

名 称	略 図	員 数
束柱		1
束柱キャップ		1

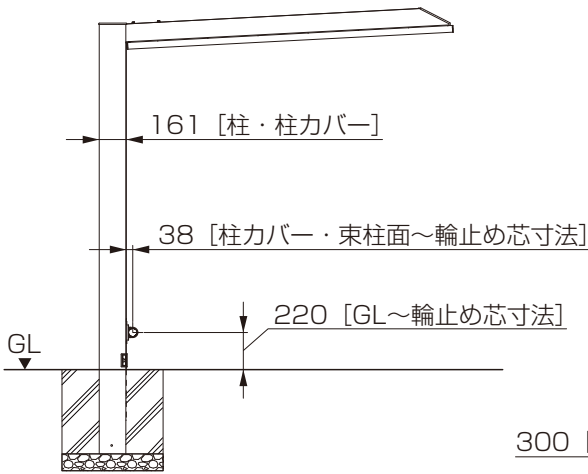
## 【3】 束柱セット (つづき)

名 称	略 図	員 数
アンカー棒		1
【3-1】 φ4×16ナベドリルネジ		2

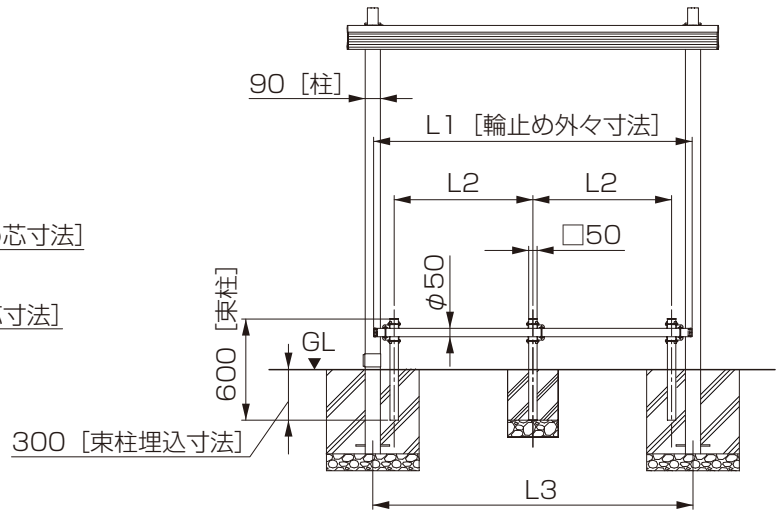
# 施工方法

## 姿図

【基本側面図】



【L22・L29基本正面図】

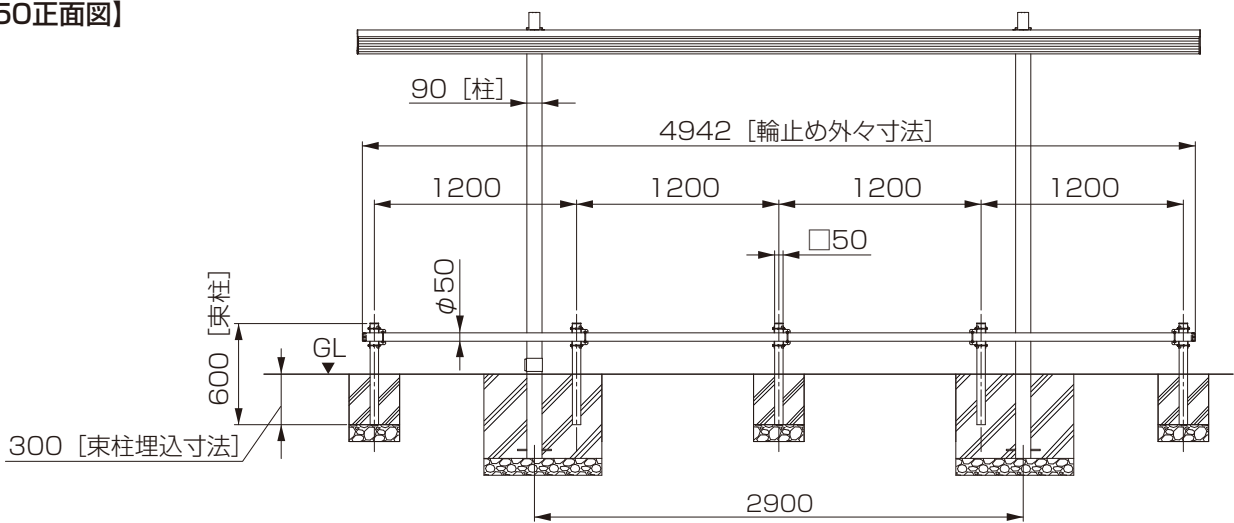


**お願い**

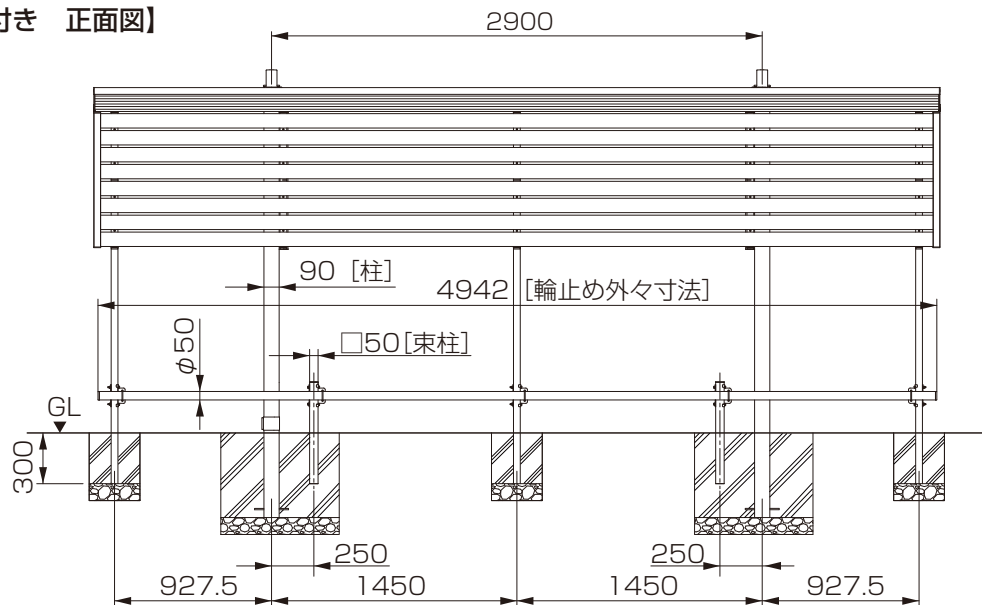
●L22・L29サイドスクリーン付きの場合、中央束柱がサイドスクリーン補助柱になります。

奥行	L1	L2	L3
L22	1890	823	1900
L29	2596	1176	2600

【L50正面図】

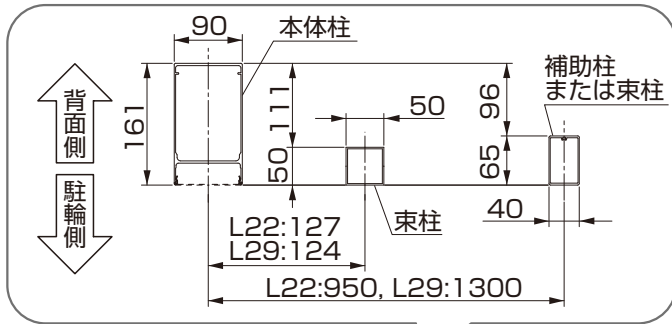


【L50サイドスクリーン付き 正面図】



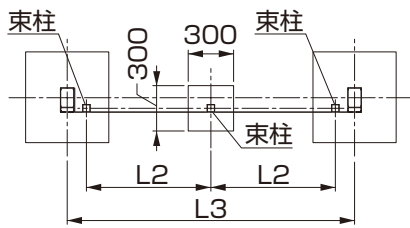
# 1 基礎の施工

①束柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

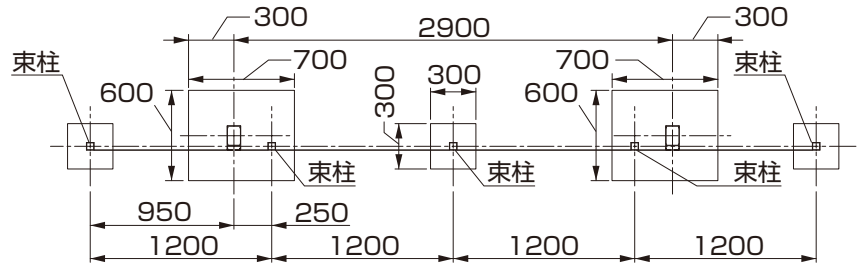


奥行	L2	L3
L22	823	1900
L29	1176	2600

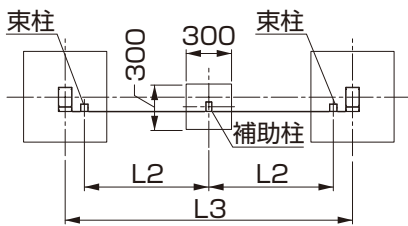
## ●L22・L29の場合



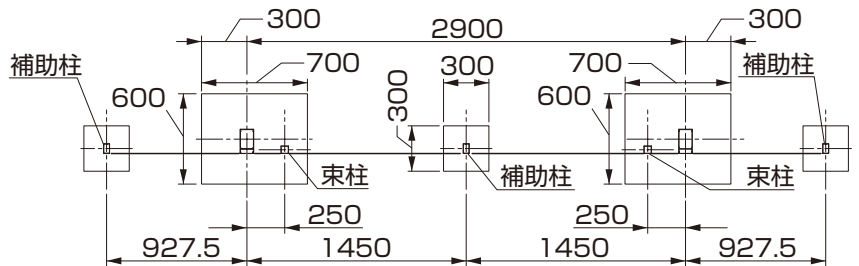
## ●L50の場合



## ●L29サイドスクリーン付きの場合



## ●L50サイドスクリーン付きの場合



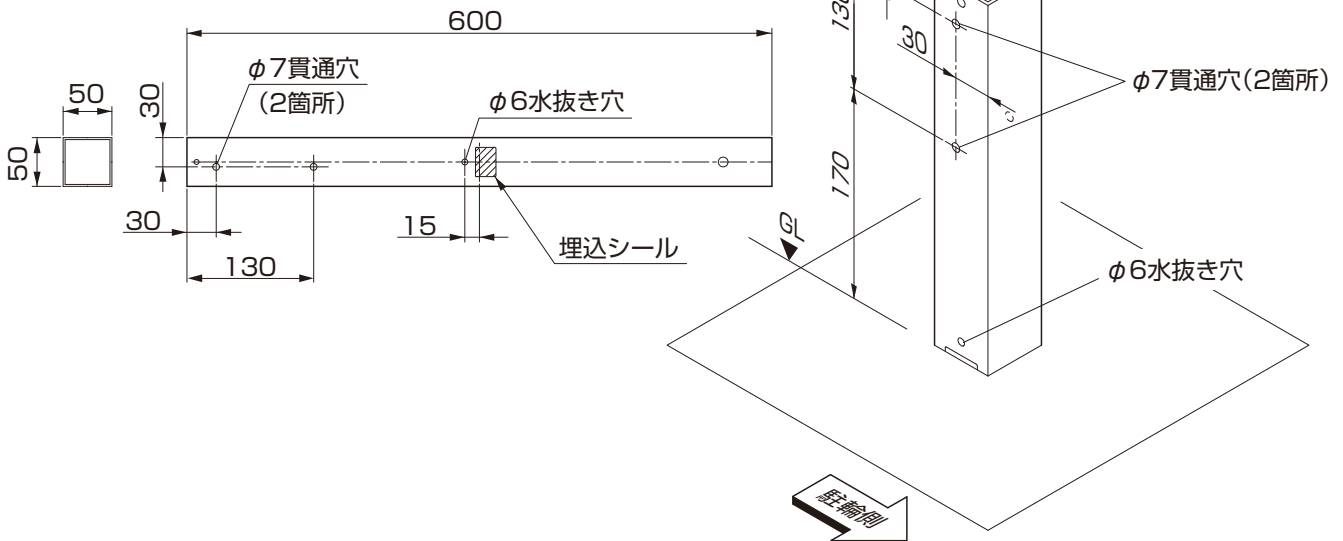
### 補足

- 本体の柱基礎については本体取付説明書を参照してください。
- 束柱の移動は±100mm以内です。

# 2 束柱または補助柱の穴加工

## ●束柱の場合

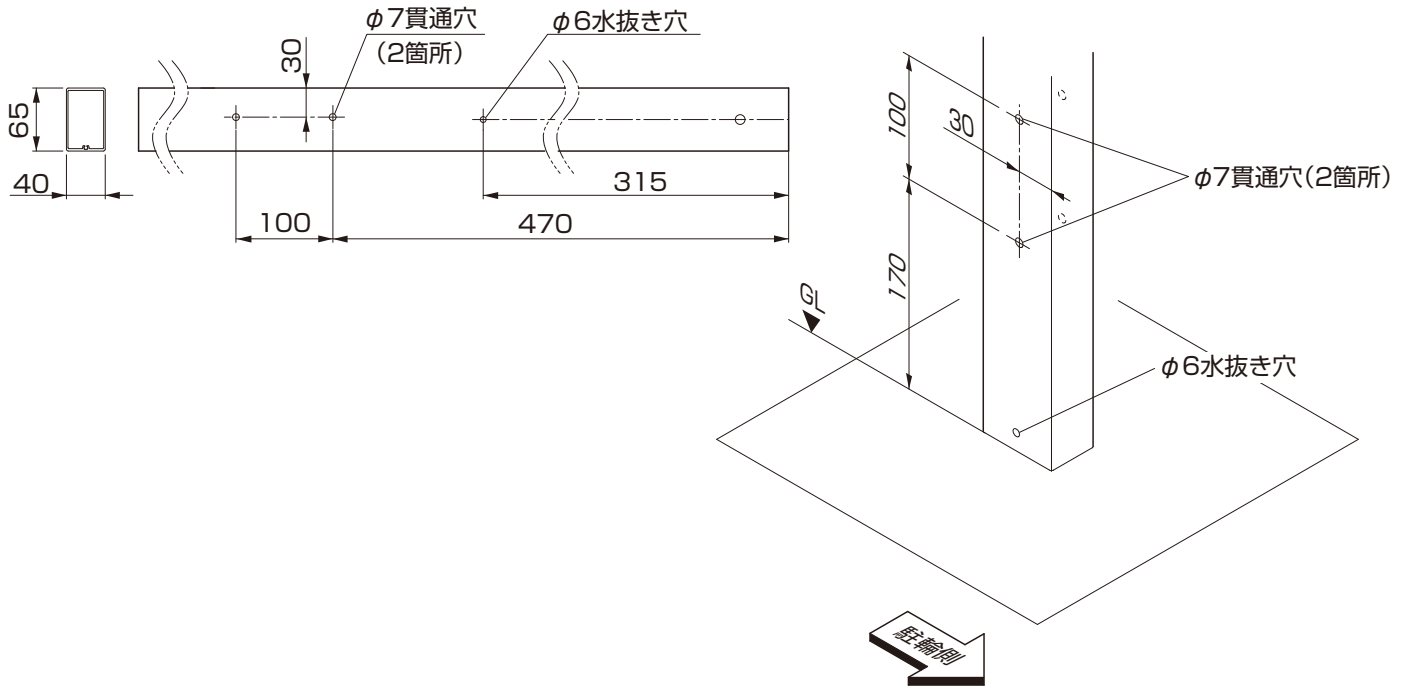
- ①束柱へ下穴をあけてください。
- ②束柱にφ6の水抜き穴をあけてください。



## 2 束柱または補助柱の穴加工（つづき）

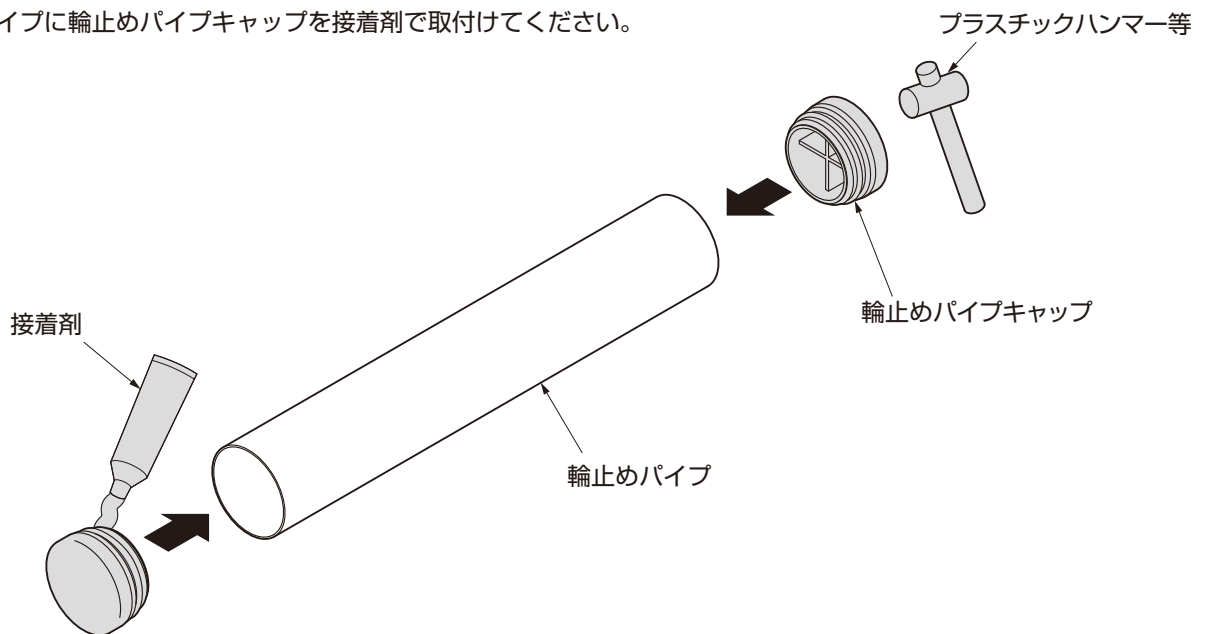
### ●補助柱(サイドスクリーン)の場合

- ①補助柱へ下穴をあけてください。
- ②補助柱にφ6の水抜き穴をあけてください。



## 3 輪止めパイプキャップの取付け

- ①輪止めパイプに輪止めパイプキャップを接着剤で取付けてください。



### お願い

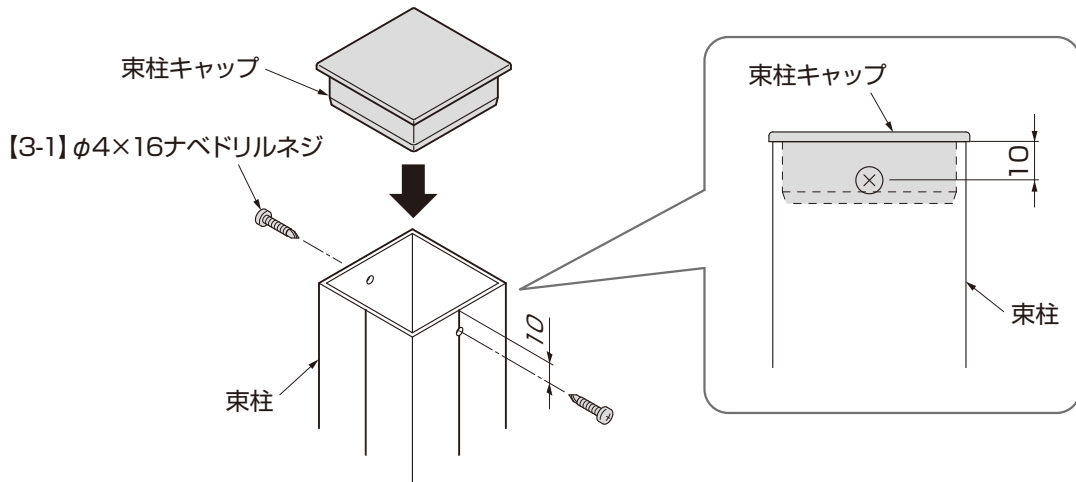
- キャップの破損を防ぐために、プラスチックハンマー等を使用してください。
- キャップの脱落・紛失防止のため、必ず接着剤を使用してください。

### 補足

- 市販の接着剤を使用する場合は、塩ビ用接着剤または瞬間接着剤もしくはエポキシ系接着剤を使用してください。

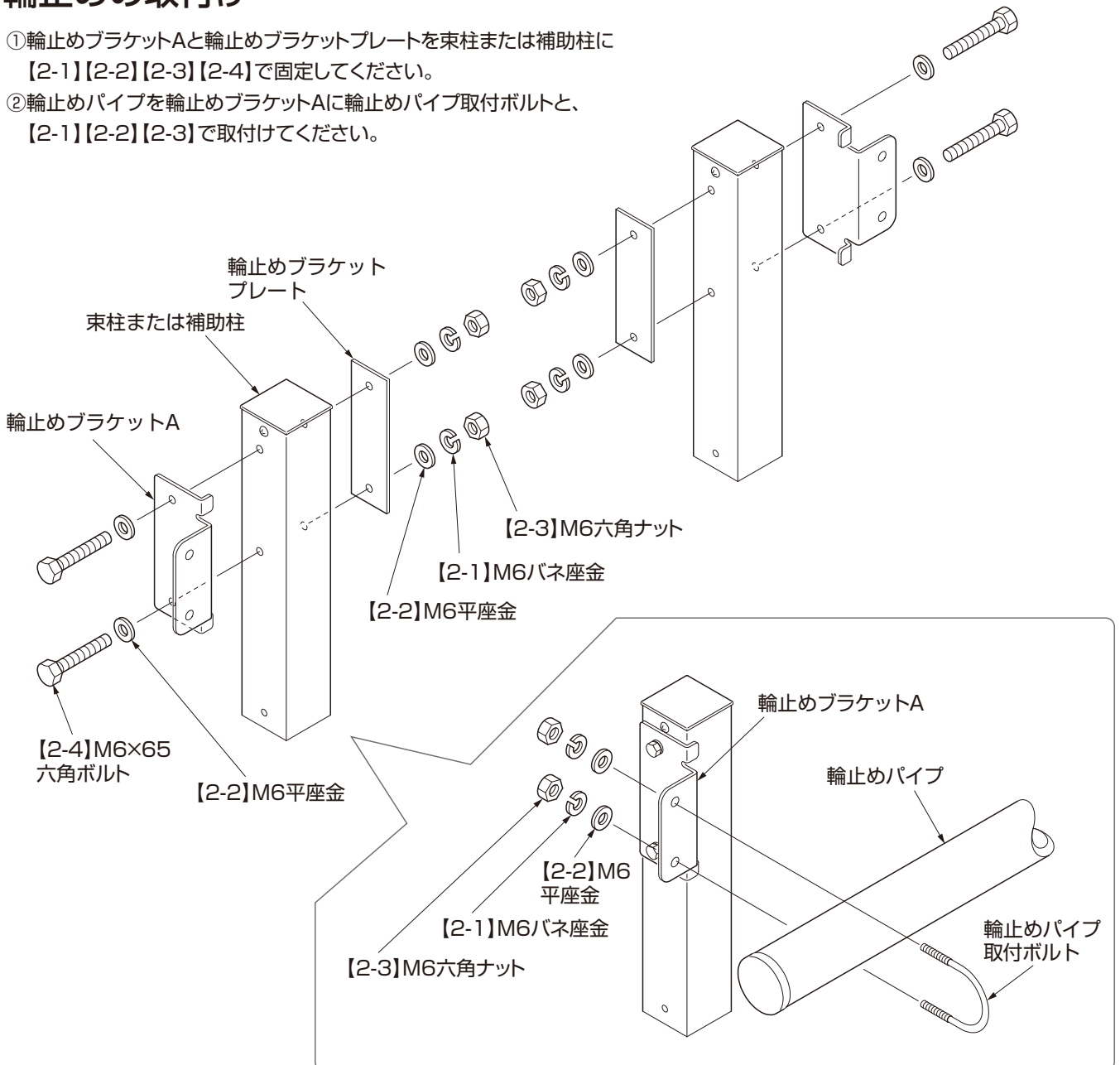
## 4 束柱キャップの取付け

①束柱に束柱キャップを、【3-1】で取付けてください。



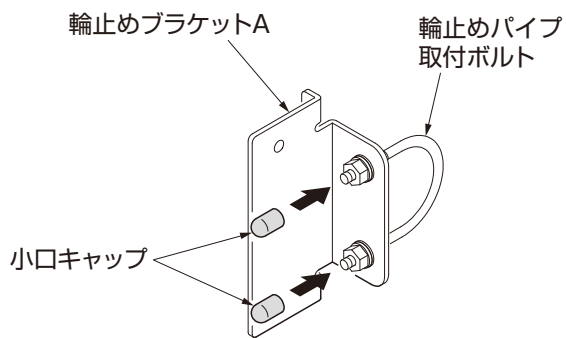
## 5 輪止めの取付け

- ①輪止め Bracket A と輪止め Bracket プレート を束柱または補助柱に【2-1】【2-2】【2-3】【2-4】で固定してください。
- ②輪止めパイプを輪止め Bracket A に輪止めパイプ取付ボルトと、【2-1】【2-2】【2-3】で取付けてください。



## 6 小口キャップの取付け

① 輪止めパイプ取付ボルトの先端に、小口キャップを取付けてください。

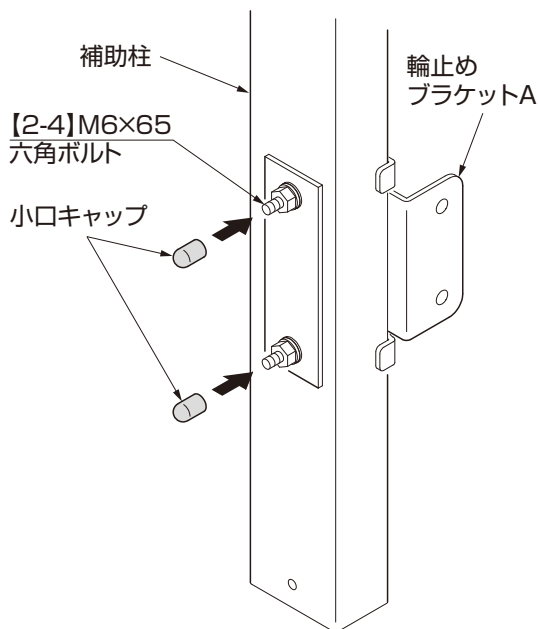


### ⚠ 注意

- 小口キャップは必ず取付けてください。使用者がケガをするおそれがあります。

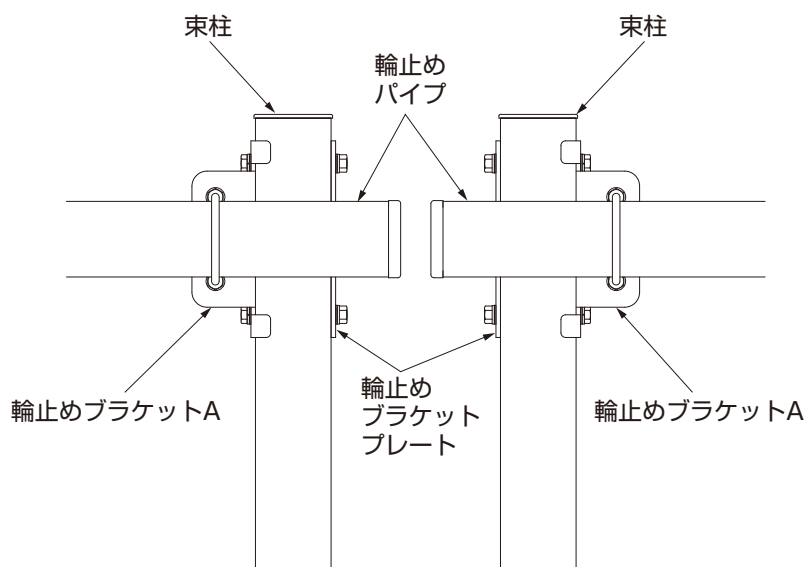
### お願い

- 補助柱へ取付ける場合、  
【2-4】M4×65 六角ボルトの先端にも、  
小口キャップを取付けてください。



## 7 連棟部の組立て

① 輪止めパイプを輪止めブラケットAに輪止めパイプ取付ボルトと、【2-1】【2-2】【2-3】で取付けてください。



取説コード

D648

JZ2634074  
201708A\_1048